

悪夢の年

株式会社 榎戸材木店
会長 榎戸正人

新年早々、嫌なタイトルですが、どう考えても今年が良い年になるとは思えません。トランプが大統領!?これだけで悪夢です。あのような人物を大統領に選んだアメリカと言う国は、アメリカ国民は、何を考えているのでしょうか。もう少し知的レベルの高い人たちの国だと思っていたのですが……

彼の公約はメチャクチャです。石油や天然ガスをどんどん掘って、価格を半分にする?どこの世界に将来価格が半になるのに何千億円、ヘタをすれば1兆円を超える大金を使って採掘をする会社があるのでしょうか?補助金を貰っても毎年毎年大赤字を出したのでは、その会社の株式は暴落し、倒産してしまいます。あり得ない話です。

中国からの輸入品に60%、その他の国からの輸入品に10~20%の関税を掛ける?今まで1億ドルの商品を中国から輸入していた企業は1億6千万ドルも払わなくてはなりません。もちろんコストが上がるわけですから、価格に転嫁し物価は大幅に上がります。他の国から輸入するとしても、10~20%の関税は支払わなくてはなりません。せっかく落ち着いたインフレは再燃し、苦しむのはアメリカ国民です。「私が大統領になったら、インフレは解消する」などと言うたわごとを信じて1票を投じたとしたら、あまりにも愚かです。

トランプ氏は外国から物を輸入しなくても、アメリカ国内で全て生産できるとでも思っているのでしょうか?その原材料の大半は輸入に頼らなくてはなりません。結局、物価は上がります。インフレ率2%を目標にして、もう少しで達成できるところまで来たのに、確実に7~8%のインフレが再燃します。当然、労働者は賃上げを要求するでしょうが、労働コストが上がれば企業はそれを価格に転嫁し、さらに物価は上がります。ハリス氏ならソフトランディングでアメリカ経済は軟着陸できたでしょうが、トランプ操縦士ではアメリカは墜落してしまいます。

法人税、所得税を下げる?その財源はどうするのでしょうか。前述の外国からの関税を財源にするといっても、そもそも外国からの輸入を減らそうという意図で高額な関税を掛けるわけですし、その関税は結局、消費者にツケが回るのですから、国民が幸せになるはずもありません。トランプが大統領になればアメリカは良くなる、皆、幸福になれるなどと信じていた人たちは、悪魔の新興宗教の信徒です。

減税策、大規模な財政支出を打ち出せば一時的に景気は良くなり、株価は上がるかも知れませんが、そのしわ寄せはアメリカ国民だけではなく、世界中に及びます。アメリカに輸出できずに溢れかえった中国製品は全世界にダンピング輸出され、その国の経済を破壊します。

今でもドイツは中国から安い価格の電気自動車が大量に輸入され、フォルクスワーゲンもベンツも青息吐息です。中国の電気自動車に50%近い関税を掛けても、ドイツ車よりも安いと言うのですから、お話になりません。

これが本当に悪夢で、現実のものとならなければ幸いです。トランプ氏や彼を選んだアメリカ国民の目を覚まさせるのは容易なことではなさそうです。